

# お知らせ

いつも空き缶の提供、回収にご協力いただきありがとうございます。  
 2023年10月～12月のリサイクル活動による収益は24,000円でした。  
 収益金は仲間の給料となります。

冬のきょうされん物品販売はたくさんの方々、団体みなさまにご協力いただき、仲間ひとり当たり5,000円のボーナスを支給(1回目)できました。  
 ありがとうございました！！

1月25日(木)にコープ二条駅2階フロアで製品販売をしています。時間は13時～14時ごろを予定しています。  
 ご都合よろしければぜひお立ち寄りください♪  
 (毎月最終木曜日に販売予定です)



# はるの里 通信

発行元 〒615-8241 京都市西京区御陵谷町7-1  
 社会福祉法人はるの里 TEL/FAX 075-394-5930  
 生活介護事業所はるの里 URL <https://www.harunosato.com>



松尾大社で初詣



新年の書初め

## 寄附(順不同、関係者除く)

京都洋服組合さま 金一封  
 Kさま お菓子  
 Kさま お菓子

(株)朱常分店 バナナ  
 Yさま 金一封  
 福井さま 金一封

## 能登半島地震 緊急支援にご協力を！

きょうされん自然災害支援基金にご協力をお願いいたします

郵便振替  
 <口座名義> きょうされん自然災害支援基金  
 <口座番号> 00100-7-86225

はるの里通信、2024年新年号のお届けです。今号では、ラッコグループの活動の様子を掲載しています。元気な仲間たちの様子をぜひご覧ください。



ホームページは

[harunoato.com](https://www.harunoato.com)

で検索



# 新年のあいさつ

寒さの中で吐く息がキリッとした気持ちにさせてくれる季節です。はるの里の近所の蠟梅の甘い香りが“どんなときにも春は必ず来るよ”と語りかけてくれているようです。

みなさま方におかれましては、私どもはるの里を温かく支えていただき、まことにありがとうございます。穏やかで大切な人との交流が戻ったはずのお正月でしたが、元旦の能登半島を襲った大地震で状況が一変しました。尊いいのちを失った方々に哀悼の意を表するとともに、不便な避難生活を送られている方々にお見舞いを申し上げます。高齢者や障害のある方等、社会の支援を必要とする方々は災害時にいのちをつなぐことに困難を抱えています。

コロナ禍を通じて、人と人のつながりやだれも取り残さない社会の大切さをわたしたちは学びました。災害時にこそいのちの平等が発揮される社会の仕組みづくりが必要なことを痛感します。

本年も、みなさまと一緒にだれもが大切にされる社会の実現に向けて歩んでまいります。どうぞ指導のほど、よろしくお願いいたします。

## あたりまえの日常をいとおしんで

障害のある仲間たちの日々の活動も少しづつ、コロナ前に戻っています。食べたいものを一生懸命考える昼食の買い物、場所を選んだ外出、貸し切りの外食、月に1回のうたごえなど、再開しています。「ずっと待っていたからメッチャ楽しいな」と、仲間たちのとびっきりの笑顔が最高です。

コロナはじめインフルエンザなど感染症とおつきあいはこれからも続いていくことと思います。目の前の仲間や家族、職員のいのちや健康を守るために今何が必要かを第一に、日々の活動を充実させていきたいと思っています。

## 新たな歩みをすすめる年に

はるの里が、二人の仲間からうぶごえを上げたのが1981年、遅ればせながら40周年記念誌を夏に発行いたしました。機関誌作成を通じ、はるの里が大切にしていること、歴史と今、これから暮らしを支える新たな歩みをすすめていくことを共有する機会となりました。

仲間や家族の状況が変化し、今年度にも入所施設に移っていった仲間、多くの方々の支援を受けながら一人暮らしにチャレンジ中の仲間もいます。仲間一人ひとりの「だれとどこでどんな暮らしをしたいか」願いに耳を傾け、あたりまえの暮らしを手に行うことができるよう、暮らしの課題を前に進める年にしていきます。

2024年の春は、医療・介護・障害のトリプル改定がおこなわれます。コストカット経済が言われ、社会保障費の自然増も抑えていこうという風潮ですが、現場の声に耳を傾けた改定になることを願っています。

所長 村井 文枝

# きょうされん第47次国会請願署名

署名・募金に  
ご協力ください  
よろしくおねがいします

第47次国会請願署名・募金にご協力ください！

今回の請願項目は6つです

1 国は責任をもつ早期に優生保護法問題の全面解決を図り、優生思想をなくすことに取り組んでください

2 障害のある人がコロナ等の感染症に感染しても安心して医療を受けられるようにしてください

3 障害基礎年金を増額するほか、障害のある人の所得保障策を充実させてください

4 障害福祉事業における障害のある人と家族の自己負担をなくしてください

5 障害のある人が65歳になっても、必要な支援を自ら選ぶ自己負担なく利用できるようにしてください

6 障害のある人に充実した支援ができる安定した事業所運営のために

おしりかき

みんなにしていましょ

詳しくは署名用紙をご覧ください

おしりかき

ながまのわが

65才になってもはるの里に

「きょうされん」って？  
1971年に障害のある人の願いをもとに結成されました。現在は1860カ所を超える障害のある人たちを支援する事業所が会員となっています。わたしたちは障害のある人たちの暮らしを豊かにするための制度拡充を求め活動を続けています。

〈お問い合わせ先〉  
生活介護事業所はるの里  
〒615-8241 京都市西京区御陵谷町7-1  
TEL 075-394-5930

# 私が思うはるの里

# コープ二条駅にて自主製品を販売！



かめしゃんグループにボランティアとして入らせていただいて3年目になります。週1回なので、なかなか仲間の皆さんの個性を理解するのが追いついていません。散歩や創作活動は、まだまだ皆さんとの合わせ方がわかっていないので迷惑をかけていると反省です。

私は6年前に障害の息子を亡くしていますので、「障害のある人の自立って何だろう・・・?」「これからの老障介護って・・・」とか気になります。社会の一員として今の時代の考え方を仲間や職員の皆さんから教わりたいと思っています。

微力ですが、継続が力と信じ皆さんとの楽しい時間の共有をこれからも続けていきたいと思えます。

ボランティア 木村 弘子



京都生協ときょうされん京都支部は1990年に障害者をはじめ、すべての人間が大切にされる平和な社会を作ることを共通の課題として協定書を締結。「きょうされん商品の取り扱いがあれば利用応援したい」という組合員の声をうけて、生協の店舗での製品販売が始まりました。生協ときょうされんのつながりのもと、きょうされん加盟事業所であるはるの里も「コープ二条駅」店の共有スペースで自主製品の販売を行うことになりました(12/28 第1回目出店)。コロナ禍で仲間の製品をみていただく機会がなかなか作れない中、貴重な経験になりました。当日は、多くの方に来ていただき、合計で6,200円の売り上げがありました！自分が作った製品を目の前で購入していただいたり、身に付けていただいたり、仲間もとても嬉しそうでした。

当日の様子



製品の紹介



～製品一覧～

裂き織りカバン・マット・  
コースター  
マフラー  
くるみボタンマグネット  
モビール  
トピアリー  
ポストカード など

毎月最終の木曜日に出店  
予定です！是非お立ち寄  
りください。

# 2023年も楽しかった！“ラッコグループ”

生活介護事業所はるの里では 18 名の仲間が通所されており、かめしゃんグループ、りすグループ、ラッコグループの3つのグループに分かれて日々活動しています。ラッコグループは、散歩・自主製品の作成（裂き織り）・缶つぶしの仕事に日々励んでいます。今回はそんなラッコグループの仲間のみなさんの元気な姿をご紹介します！



立派ななすび  
ができました！

初ガーデニング！なすびを種から育てました♪

季節のイベントも  
盛りだくさん！  
一緒に踊ると楽し  
いね！



皆様からいた  
だいた布で織  
物を作ってい  
ます♪

アルミ缶つぶ  
し頑張るぞ  
～！



散歩してココロもカラダもリフレッシュ！

私たちはこんな仕事や活動をしています！